

今年度から、身近で有用な情報を四半期に1回、鹿児島産業保健推進センターから毎月初めに配信したメールレター（無料）の内容を中心に取りまとめて、本紙によりお伝えしておりますのでご利用ください。今回は、前年度、県内事業場で開催しました産業医を対象とした実地研修風景を紹介します。

平成21年度認定産業医実地研修
(職場巡視)

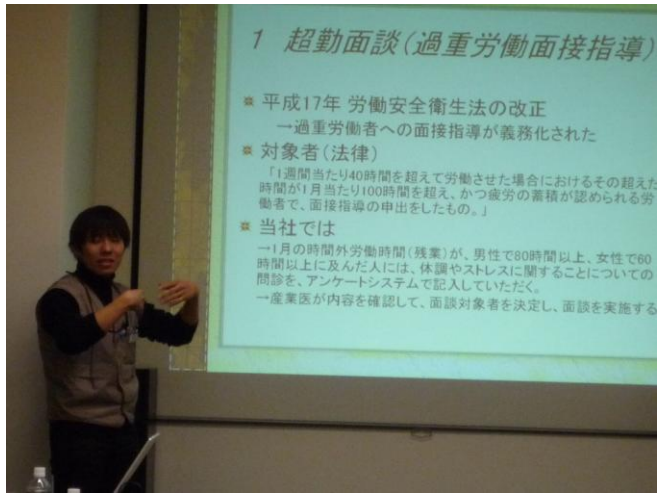
平成21年12月10日(木)

於:京セラ(株)鹿児島川内工場

講師:沖田 信夫 専属産業医

小田原 努 嘱託産業医

平成21年12月17日(木)
於:ソニーセミコンダクタ九州(株)
鹿児島テクノロジーセンター
講師:林 大輔 専属産業医



*平成23年1月26日14時~16時
富士通インテグレート・マイクロテクノロジー(株)九州工場
(薩摩川内市入来町副田 5,950)において、
『産業医等に対する職場巡視産業保健研修』を
開催します。⇒定員20名
*研修内容の詳細・申込方法等
⇒ホームページに掲載

～産業保健相談員より～

●「男性の喫煙者は肺がんにご用心を！」

基幹相談員 瀬戸山 史郎 (担当分野：産業医学)

鹿児島県民総合保健センターの肺がん検診で、これまで見つかった627名の男性肺がん患者さんの8割強は喫煙歴があり、そのうち8割弱は喫煙指数(1日喫煙本数×喫煙年数)600以上のヘビースモーカーでした。一方、304名の女性肺がん患者さんのうち喫煙歴のある人は約5%に過ぎず、ヘビースモーカーも僅かに4名でした。

昔からタバコは百害あって一利なしといわれています。

男性喫煙者の皆さん！明日からと言わず今日からでも禁煙しましょう！

●「上昇停止症候群」

基幹相談員 長友 医継 (担当分野：カウンセリング)

上昇停止症候群とは、中年期に入り体力が衰え、社会的な地位や収入に限界が見え始めてきた時に、「自分の人生は下降線をたどり始めている」ことを自覚し、やる気をなくしたり、無気力になったりする状態を指します。

この世代の生き方について、作家の嵐山光三郎は以下のように述べていますが、卓見ではないかと思えます。「(略)50歳は人生の到達点と考えてもらいたい。50歳は到達点であり絶頂期である。したがって、50歳を過ぎたら下り坂の人生になると自覚してもらいたい。下り坂を否定するのではなく、下り坂をそのまま受け入れるのである。そこに気が付くと再び人生が繁盛する。上り坂の時に見えなかったものが下り坂になると見えてくる。(1194、2010冬、Vol.127)」

●「屋外作業場における作業環境管理に関するガイドライン(平成17年3月31日付基発第331017号)に係わる作業環境測定について」

基幹相談員 林 和幸 (担当分野：労働衛生工学)

今回の労働衛生工学に関するメッセージは、標記の題名で非常に難解なような題名ですが、砕いて申せば、今まで作業環境測定の対象は屋内作業が主であったことから、「屋外で作業せざるを得ない場合

の作業環境管理は如何したらよいか・・・」ということがテーマとなります。屋外の測定結果に対する評価は簡単明瞭で、主たる作業者の呼吸位置での有害物濃度(10分間以上の測定値)が管理濃度より以下か超えるかで行います。

超えていた場合、ア)施設・設備・整備・工程・作業方法改善等で管理濃度より低く抑えること。イ)必要な措置が講じられるまでは、呼吸用保護具を使用させ、健康保持を図る。ウ)改善措置を講じた時は、その効果確認の作業環境測定を実施し、管理濃度が決められていない物質は可能な限り低濃度に維持できる体制を維持すること。

記録評価の保存は概略にて屋内取扱物質の記録保存年数に該当する。

以上、屋外作業の場合の作業環境管理について述べましたが、当該作業環境測定方法のうちサンプリングについては、欧米韓等で用いられている個人曝露のサンプリングと当該暴露値の直による管理濃度または学会等の許容濃度との比較によりなされます。総じて言えることは、屋内作業の評価の仕方より、大幅に簡単明瞭となっております。

どうぞ皆様の事業場にて、屋外作業が見られる場合は、「屋外作業場における作業環境管理に関するガイドライン」をご利用ください。

～お知らせ～

「事業場における産業保健活動の拡充に関する検討会」の報告書を公表！

1月22日に事業場における産業保健活動の拡充に関する検討会の報告書がとりまとめられました。(厚生労働省安全衛生部労働衛生課)

⇒平成22年9月に厚生労働省の「職場におけるメンタルヘルス対策検討会」がまとめた報告書の中で、今後検討が必要とされた項目のうち、①事業場に対する支援体制の整備②人材の確保③地域保健との連携について、特にメンタルヘルス対策に重点をおいた検討を行ったものです。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000wvk2.html> (詳細)

編集：発行 鹿児島産業保健推進センター
〒890-0052 鹿児島市上之園町 25-1 中央ビル 4F
TEL:099-252-8002 FAX:099-252-8003
E-mail:info@sanpo-kagoshima.jp

